

トランプゲーム 「サザンクロス」公式ルール

Ver 4.0

はじめに

——1人でも、仲間とでも遊べるトランプゲームを作りたい。

長い長いトランプゲームの歴史の中で、ありそうでなかったもの。そんな、前人未踏の世界に足を踏み入れてみたかった。

そんな思いから、ある日突然形になったのが、これから紹介する「サザンクロス」というトランプゲームです。

それは2012年の春のこと。

3×3に場札を並べる形を思いつき、それから数分間に「サザンクロス」のプロトタイプが出来上がりました。

それから、仲間と遊ぶうち、2人以上で遊ぶときには「リーチ」で加点するシステムを導入するなど、さまざまなアイデアを取り入れてきました。

そして、「3×3」の形にこだわらず、いろんな形にカードを並べてみることで、当初思ってもみなかった面白さを発見することもできました。

ここに「公式ルール」をまとめました。一見、難解なようにも見えますが、一度遊んでみれば、誰でもすぐに覚えられます。さらっと目を通して見て、まずは「1人プレイ」で、ぜひ一度遊んでみてください。一度遊んでみればすぐに、あなたも「サザンクロス」の魅力を引き込まれていくでしょう。

宇宙のように広い「サザンクロス」の世界へ、ようこそ！

日本サザンクロス協会
代表 北畑 雄一郎

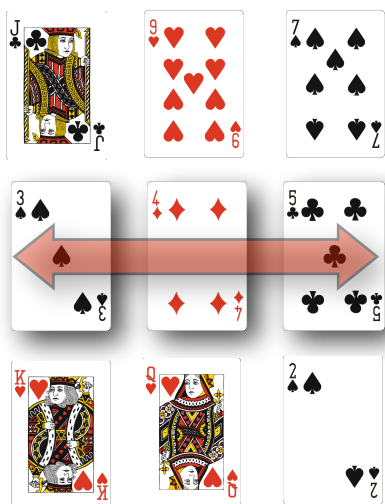
トランプゲーム「サザンクロス」公式ルール ver. 4.0

目次

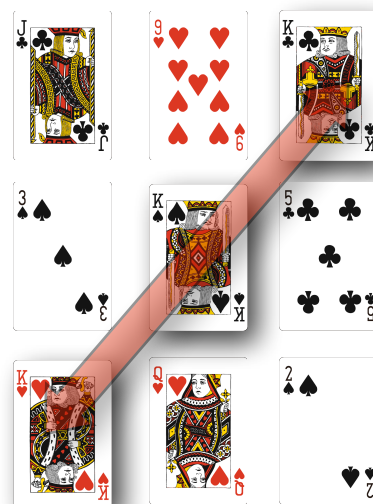
「サザンクロス」とは	・・・・・・・・	4
プレイの方法（1）〈1人プレイの場合〉	・・・・・・・・	5
役の種類と点数	・・・・・・・・	7
プレイの方法（2）〈複数プレイの場合〉	・・・・・・・・	15
複数プレイの場合の「リーチ」について	・・・・・・・・	17
さまざまなプレイのバリエーション	・・・・・・・・	20
サザンクロスQ&A「こんな時、どうする？」	・・・・・・・・	22
「サザンクロス」をさらに楽しむために（1） 「シシクロス（4×4クロス）」	・・・・・・・・	23
「サザンクロス」をさらに楽しむために（2） 「ゴゴクロス（5×5クロス）」	・・・・・・・・	25
「サザンクロス」をさらに楽しむために（3） 「フリークロス（のびクロス）」	・・・・・・・・	28
「サザンクロス」をさらに楽しむために（4） 「ゾディアクロス」	・・・・・・・・	30
おわりに	・・・・・・・・	32

■「サザンクロス」とは

トランプゲーム「サザンクロス」は、3×3の9枚の場札で、縦・横・斜めの3枚で「役」を作り、点数を上げていくゲームです。「役」には、**3つの連続した数字を揃える「シークエンス」**（3・4・5 や K・A・2 など）、**3つの同じ数字を揃える「セット」**などがあります。1人でも、複数でも遊ぶことができます。



シークエンス



セット

- プレイの目的** 場札と手札のカードを組み合わせ役を作っていく、できるだけ多く点数を稼ぐことが目的です。2人以上で遊ぶ場合は、より点数を多く取ったプレイヤーが勝利となります。
- プレイ人数** 1人～5人
- 使用するカード** ジョーカー2枚を含む54枚

■プレイの方法（1）

〈1人プレイ（ソリティア・クロス）の場合〉

① ジョーカーを含む54枚のカードをよくシャッフルし、これを山札とします。

② 〈場を作る〉

山札から1枚ずつカードを取り、場に横3列、縦3列で合計9枚のカードを置きます。このとき、左上から右下まで、（図1）の番号順に置いてください。



（図1）場にカードを置いていく順序

③ 〈ゲーム開始〉

山札の上から3枚のカードを取り（これを「手札」と呼びます）、そのうち1枚を選んで、場札の9枚のいずれかのカードの上に重ねるように置いてください。場にカードを置き、一度手を離すと、もうやり直すことはできません。

④ 〈役を作る〉

カードを置いて役ができるたびに、役となったカードを取り除き、(図2)のように場の横に置き、点数を加算していきます。場の空いた場所には、**次の手札を取って**から、山札から②の方法で補充していきます。



(図2) 役として取り除いたカードは場の横に置いていきます

⑤ 〈1ターンとは〉

このようにして、**山札から手札を取る → 場に置く → 役ができれば取り除く → 山札から手札を取り、場に空いた場所があればカードを補充する**、この一連の動作 (1ターン) を繰り返していきます。

⑥ 〈ジョーカーの使い方〉

ジョーカーはオールマイティとして使うことができ、「ダブル・トリック」「トリプル・トリック」などの大きな役を狙うこともできます。この時、**ジョーカー1枚で同時に2種類以上のカードの代わりをすることができます。**

※まれにしか起こりませんが、仮にジョーカー2枚が同時に手札に入った場合は、その2枚を同時に出すことも可能です。その時は、山札から2枚補充し、手札が再び3枚となるようにしてください。ジョーカー2枚を同時に使えるのは、2つ以上の役が連結している場合に限られます (9ページ下・図3)。

⑦ 〈ゲーム終了〉

手札とジョーカーが全てなくなればゲーム終了 (オールオーバー) となります。作った役の点数の合計がゲームのスコアとなります。

■役の種類と点数

① シークエンス (20点)

スート (♠♥♦♣) に関係なく、連続した数字となっている3枚の組み合わせ。Aは1、Jは11、Qは12、Kは13とします。K (13) とA (1) は連続しているものと見なし、「Q・K・A」「K・A・2」でも構いません。

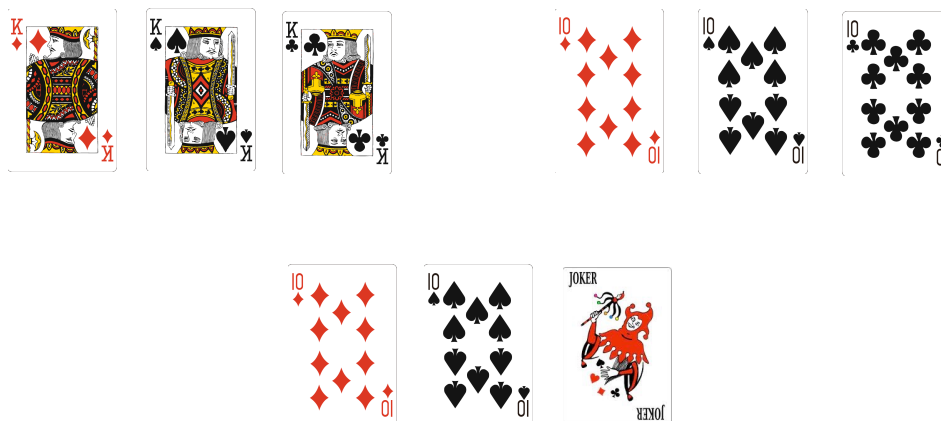
縦・横・斜めに必ず連続していなければならず、カードは同じであっても「3・5・4」などと並んでいる場合は役となりません。数字が連続していれば、上からでも下からでも、左からでも右からでも、並んでいる方向は問いません（「3・4・5」でも「5・4・3」でもよい）。

点数は最も低いですが、「サザンクロス」の基本中の基本、最もポピュラーな役です。



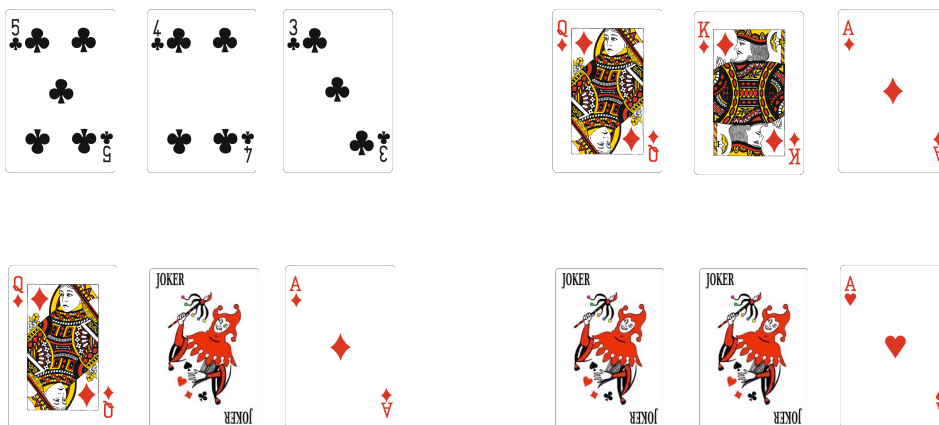
② セット (30点)

縦・横・斜めに3枚同一の数字が揃った組み合わせ。



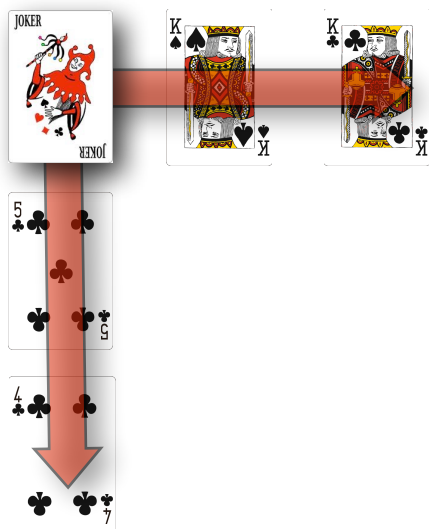
③ ロイヤル・シークエンス (40点)

スートが3枚とも同一のシークエンス。ジョーカー2枚と通常札1枚の組み合わせもこの役となります。実際にゲームをやってみると、誰もがこの役を作ることの難しさを思い知らされることになるでしょう。

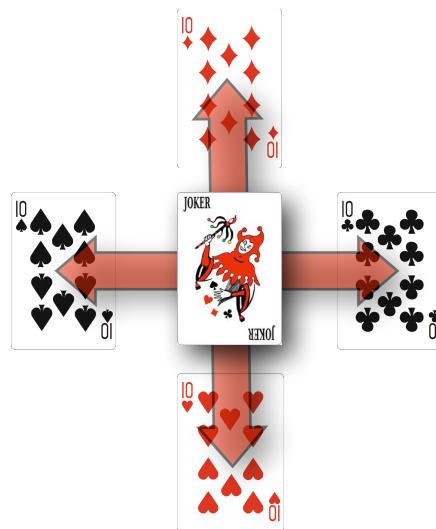


④ **ダブル・トリック (40~80点)**

ジョーカー (1枚または2枚) を使って、同時に2つの役が完成した場合。点数は、それぞれの役の点数の合計。



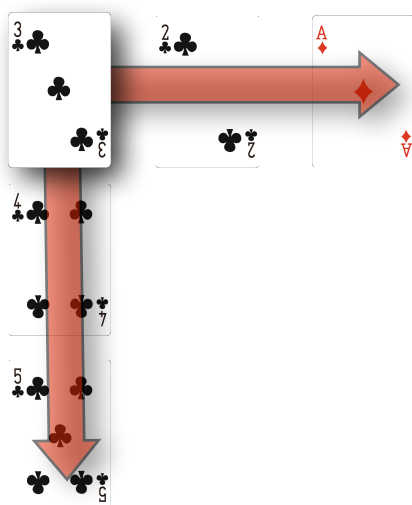
ロイヤル・シークエンス40点、セット30点で計70点となります。



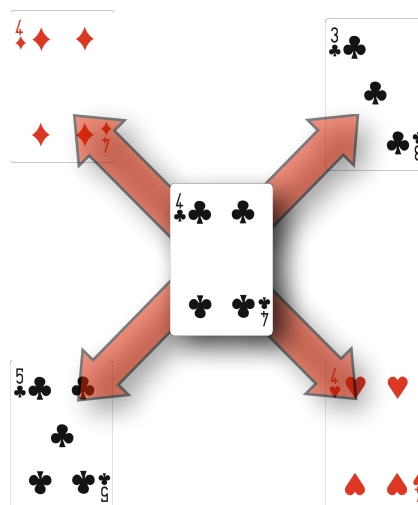
セット30点×2で計60点となります。

⑤ **エキストラ・ダブル・トリック (点数はダブル・トリックの2倍。80~160点)**

ジョーカーを使わず、同時に2つの役が完成した場合。点数はそれぞれの役の合計点数の2倍。



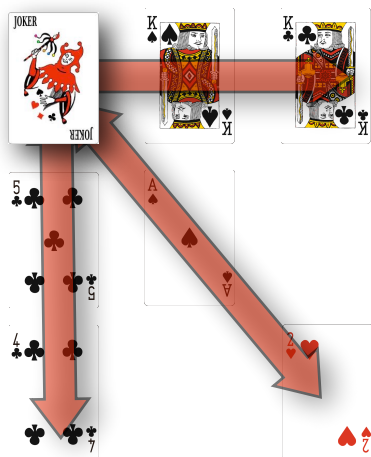
ロイヤル・シークエンス40点、シークエンス20点の計60点の2倍で120点となります。



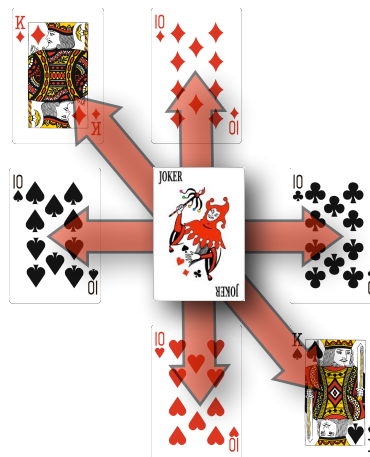
ロイヤル・シークエンス40点、セット30点の計70点の2倍で140点となります。

⑥ トリプル・トリック (60~120点)

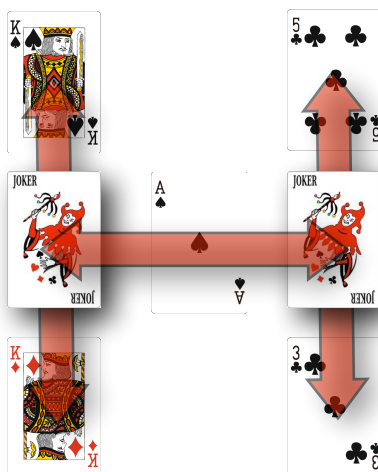
ジョーカー (1枚または2枚) を使って、同時に3つの役が完成した場合。点数はそれぞれの役の合計。



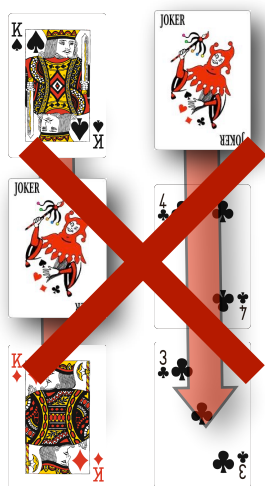
ロイヤル・シークエンス40点、セット30点、シークエンス20点で計90点となります。



セット30点×3で計90点となります。



ジョーカーを2枚同時に使ったトリプル・トリックの一例。中央にロイヤル・シークエンスができているものと見なし、ロイヤル・シークエンス×2で80点、セット30点で計110点となります。



(図3)

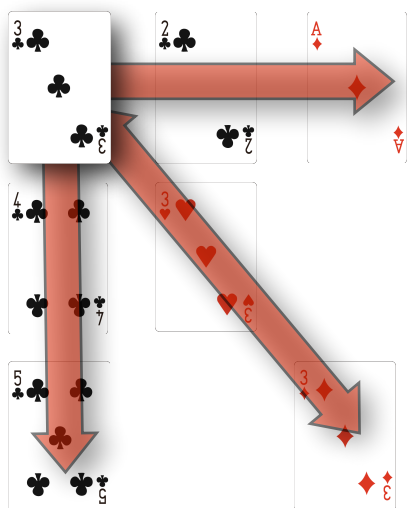
※ジョーカー2枚同時使用ができない場合

ジョーカー2枚を同時に使用できるのは、役どうしが連結している場合のみです。

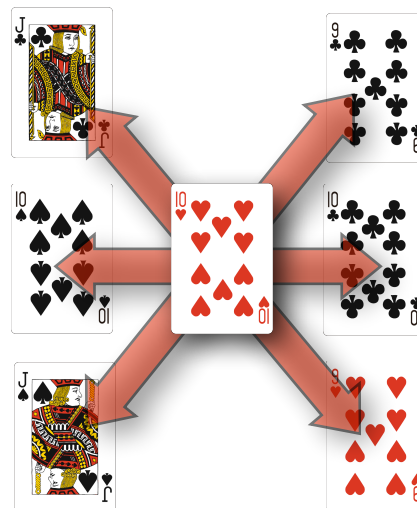
図のように、役どうしが分断されている場合は、ジョーカーを2枚同時に使うことはできません。

⑦ エキストラ・トリプル・トリック (点数はトリプル・トリックの3倍。180~330点)

ジョーカーを使わず、同時に3つの役が完成した場合。点数はそれぞれの役の合計点数の3倍。



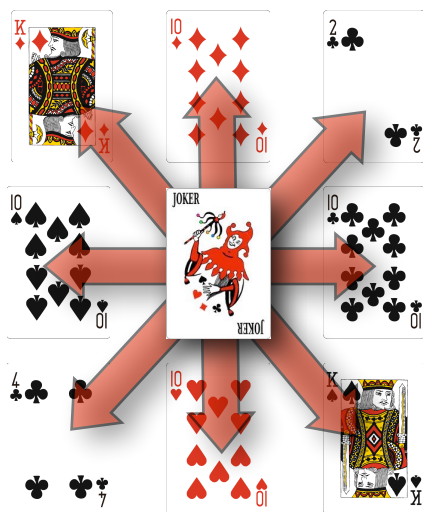
ロイヤル・シークエンス40点、セット30点、シークエンス20点の計90点の3倍で270点となります。



セット30点、シークエンス20点×2の計70点の3倍で210点となります。

⑧ サザン・クロス (80~160点)

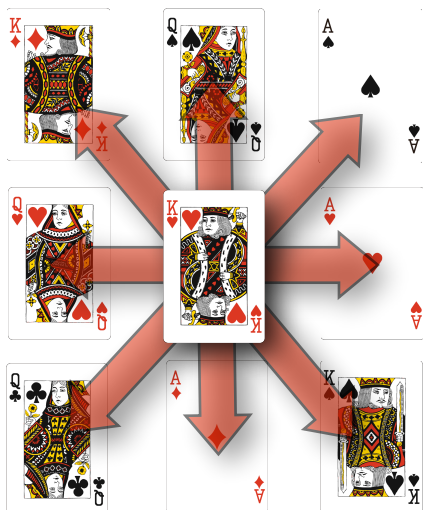
ジョーカーを場の中央に置き、同時に4つの役が完成した場合。点数はそれぞれの役の合計。



ロイヤル・シークエンス40点、セット30点×3の計130点となります。

⑨ グランド・クロス (点数はサザン・クロスの9倍。720~990点)

ジョーカーを使わず、手札を場の中央に置き、同時に4つの役が完成した場合。点数はそれぞれの役の合計点数の9倍。

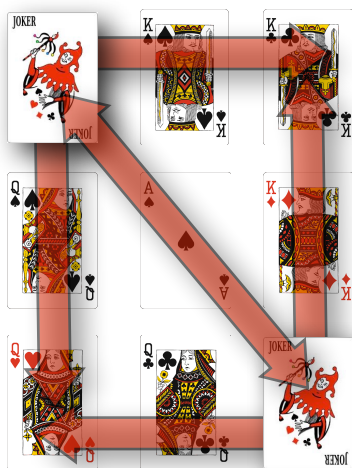


ロイヤル・シークエンス40点、セット30点、シークエンス20点×2の計110点の9倍で990点となります(アルティメット・グランド・クロス)。サザンクロスにおける最高の点数です。

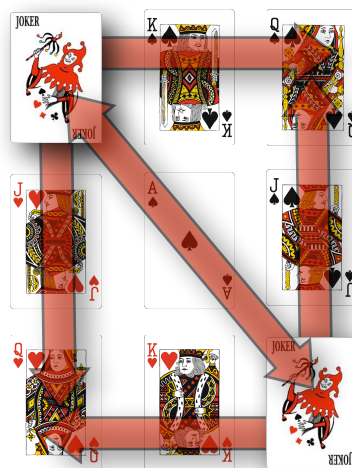
※グランド・クロスでロイヤル・シークエンス2つ以上、セット2つ以上が同時にできることはありません。

⑩ サターン (120~200点)

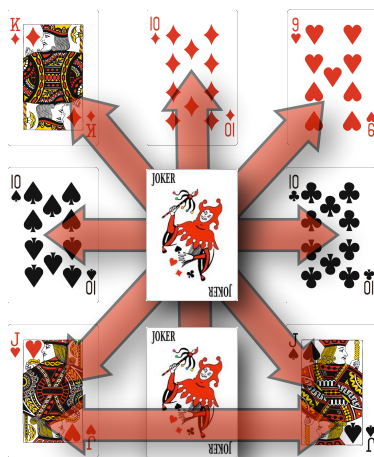
ジョーカーを対角線上の2つのコーナーに置き、同時に5つの役が完成した場合。ジョーカー2枚を同時に使用した時のみに行ける特殊役。土星の環のイメージから「サターン」と名付けました。点数はそれぞれの役の合計点数。



四角形の四辺にそれぞれセットができています。斜めにはロイヤル・シークエンスができています。ロイヤル・シークエンス40点、セット30点×4の計150点となります。



四角形の四辺にロイヤル・シークエンスができています。斜めにもロイヤル・シークエンスができています。ロイヤル・シークエンス40点×5の計200点となります。



サザン・クロスに1つ役が加わった上図のような状態も、5つの役が同時に完成しているので変形のサターンと見なします。ロイヤル・シークエンス40点×2、セット30点×2、シークエンス20点の計160点となります。

⑪ トータル・エクリプス (皆既日蝕) (50点)

場に出された全てのカードを消した場合。次に置く手札は、必ず場の中央に置かなければなりません。



山札がなくなると、場札は減っていきます。
例えば上図のように、場に2枚しか残っていない場合に...

残った2枚と手札で役を作ると、



NO CARDS!

場札が全て消えます。これがトータル・エクリプスです (50点)。この例の場合、シークエンス (20点) と合わせて計70点となります。

■プレイの方法（２）〈複数プレイの場合〉

①〈場を作る〉

いずれかのプレイヤーが、ジョーカー2枚を含む54枚のカードをよくシャッフルし、1人プレイの場合と同じ要領（4ページ（図1）参照）で場を作ります。

場札となった9枚以外のカードは山札となり、場札の横に置きます。

②〈プレイ順を決める〉

次に、山札の上から各プレイヤーが1枚ずつカードを取り（順番は問いません）、お互いに見せ合います。強いカードを持っているプレイヤーが親（先攻）となります。

3人以上でプレイする場合は、最も強いカードを持っているプレイヤーが親となり、親から時計回りの順番となります。この時取ったカードが、各プレイヤーの第1ターンで使用するカードとなります。

カードの強さは、ジョーカーが最も強く、以下A → K → Q → J → 10 → 9 → … → 2 の順です。同じ数字の場合は ♠ → ♥ → ♦ → ♣ の順となります。

この時、ジョーカーを持っているプレイヤーが2人いる場合はカードを回収し、もう一度シャッフルして配り直します。

③〈カードを配る ～ ゲーム開始〉

親は、自分を含む各プレイヤーに山札から1枚ずつ、1人2枚、最初に②で配ったカードと合わせて3枚となるようカードを配ります。配り終わったらゲーム開始です。

第1ターンでは、先ほど順番を決める際に見せ合ったカードを場の好きな場所に、親から順番に置いていきます。必ず場札の9か所のうち、どこかに置いてください。カードを置いたら、すぐに山札から1枚カードを取り、自分の手札に入れます。場にカードを置き、一度手を離すと、もうやり直すことはできません。

④〈役を作る〉

役が完成した場合は、1人プレイの場合と同様に取り除き、5ページ（図2）のように自分の横に置きます（役となった全てのカードが他のプレイヤーに見えるように置く）。スコアラー（プレイヤーのうち1人）は役を作ったプレイヤーに点数を加算し、記録します。

⑤〈ゲームの進め方〉

第2ターン以降は、ジョーカーを含む手札5枚のうちから1枚を置き、役となった札を取り除いたら、山札から次の手札を取り、次のプレイヤーの順番となります。親が場の空いた場所に山札からカードを補充する → プレイヤーが手札を置く → 役を取り除く → 次の手札を取る…この手順を繰り返し、プレイヤー全員一巡することを「1ターン」と呼びます。親が場札を補充する場合は、親が自分の側から見て4ページ（図1）の順序でカードを置いてください。

⑥〈ジョーカーの使い方〉

ジョーカーはいつでも好きな時に使用できます（第1ターンはのぞく）。ジョーカーはオールマイティとして使うことができ、「ダブル・トリック」「トリプル・トリック」

などの大きな役を狙うこともできます。この時、**ジョーカー1枚で同時に2種類以上のカードの代わりをすることができます。**

※1人プレイの場合と同様、仮にジョーカー2枚が同時に手札に入った場合は、その2枚を同時に出すことも可能です。その時は、山札から2枚補充し、手札が再び3枚となるようにしてください。ジョーカー2枚を同時に使えるのは、2つ以上の役が連結している場合に限られます（9ページ下・図3）。

⑦ 〈ゲーム終了〉

山札がなくなってからもゲームを続け、**全てのプレイヤーの手札とジョーカーがなくなればゲーム終了(オールオーバー)となります。**作った役の点数の合計が各プレイヤーのスコアとなり、得点の高い順でその順位が決まります。

⑧ 〈リーチについて〉

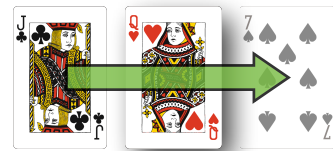
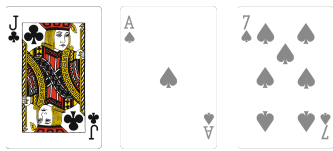
あと1枚で役が完成する「リーチ」の状態を作れば、**1つのリーチにつき5点加算**となります（**リーチ加点システム**）。同時に2つのリーチをかける「ダブルリーチ」なら10点、「トリプルリーチ」なら15点加算。4つ以上のリーチを同時にかける「スーパーリーチ」なら、リーチの数×5点が加算となります（最高で5点×8＝40点）。

なお、**ジョーカーでリーチをかけることはできません。**

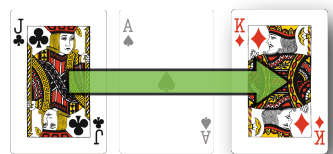
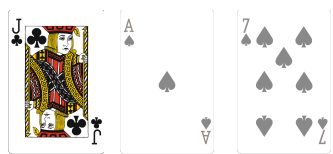
■複数プレイの場合の「リーチ」について

① ノーマル・リーチ (5点)

手札を置き、あと1枚で役ができる状態を作る。



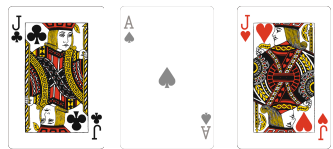
右端にKを置けばシークエンスが完成する状態。



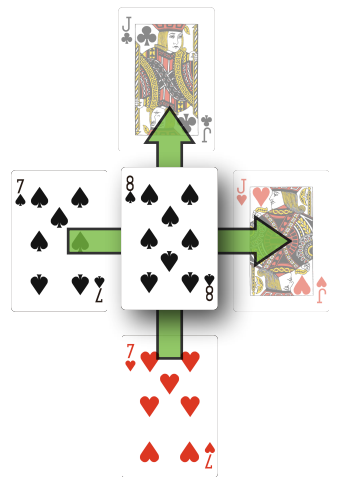
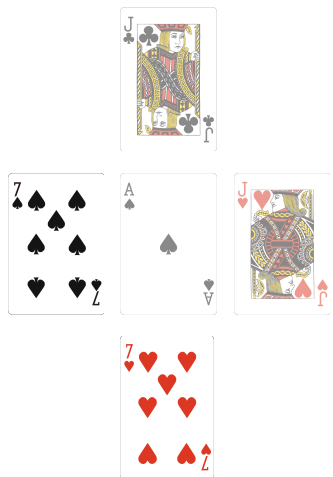
中央にQを置けばシークエンスが完成する状態。

② ダブル・リーチ (10点)

手札を置き、あと1枚で役ができる状態を2つ同時に作る。



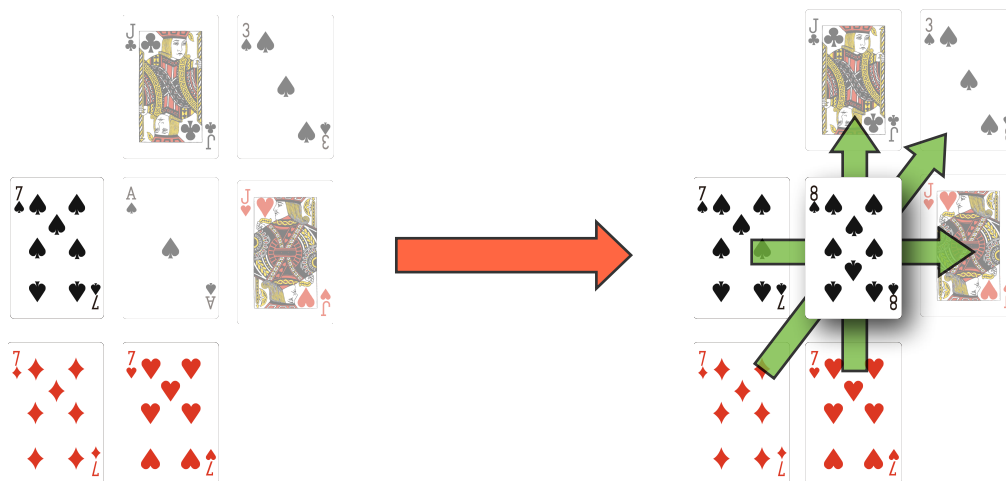
中央にQを置くことによって、左側からも右側からも同時にリーチの状態となる。



中央に8を置くことによって、左側からも下側からも同時にリーチの状態となる。

③ トリプル・リーチ (15点)

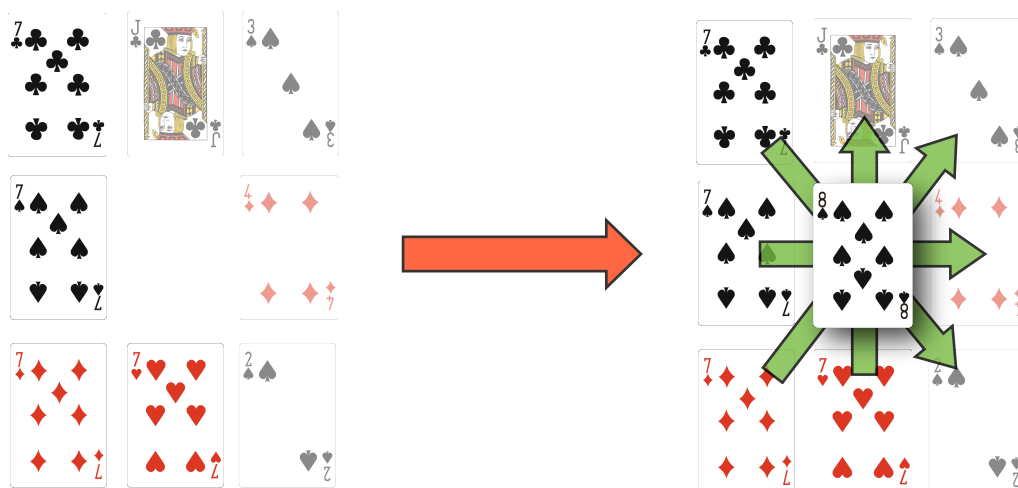
手札を置き、あと1枚で役ができる状態を3つ同時に作る。



中央に8を置くことによって、左側からも下側からも、左下側からも同時にリーチの状態となる。

④ スーパー・リーチ (20~35点) ※1リーチにつき5点

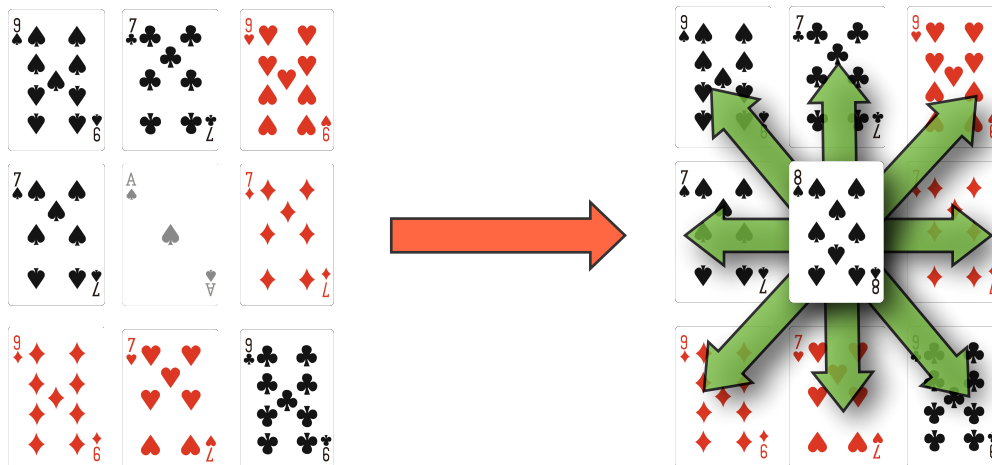
手札を置き、あと1枚で役ができる状態を4~7つ同時に作る。7つ同時リーチは「レインボー・リーチ」とも呼ぶ。



中央に8を置くことによって、左側からも下側からも、左下側からも左上側からも同時にリーチの状態となる。

⑤ サザンクロス・リーチ (40点)

手札を置き、あと1枚で役ができる状態を8つ同時に作る。



中央に8を置くことによって、全方向から同時にリーチの状態となる。

■さまざまなプレイのバリエーション

① ショート・プレイ (1人プレイ・複数プレイ)

基本ルールでは手札を各自3枚ずつ持つこととなっていますが、短時間でゲームを終了させたい場合などは、手札を1枚ずつにします。作戦の幅が狭くなり、思考時間が短くなるため、プレイ時間が短縮されます。手札の枚数を変えることによって、多いほど戦略的要素が、少ないほど運の要素が強くなります。

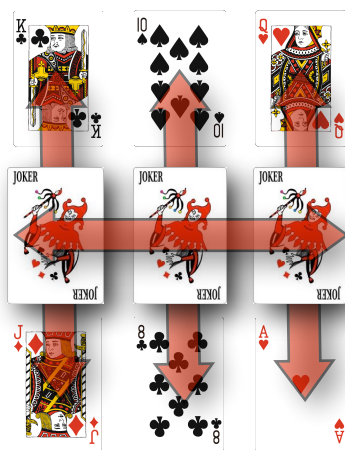
② ワイルド・プレイ (1人プレイ・複数プレイ)

山札に混ぜるジョーカー2枚の他に、各プレイヤーに、ゲーム開始時からジョーカーを2枚ずつ配っておきます。通常使用する2枚のジョーカーに加え、プレイヤー数×2枚のジョーカーが必要となります。また、ジョーカー3~4枚を組み合わせ、以下のような特殊役を作ることにも可能となります。

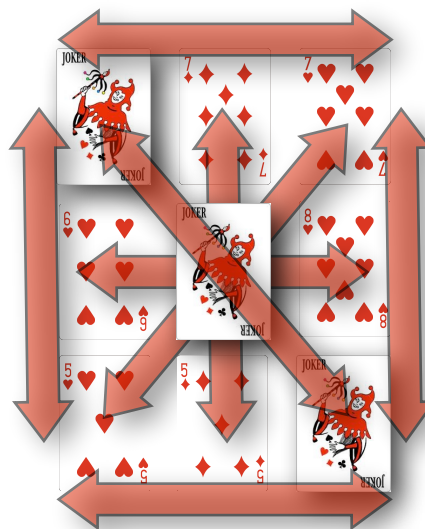
◆オリオン (ジョーカーズ・セット) (50点)

ジョーカー3枚で作るセット。オリオン座の三つ星のイメージから「オリオン」と名付けました。ジョーカー3枚を手札から同時に出す場合、または山札から場に出てきたジョーカーと手札のジョーカー計3枚の組み合わせにより作ることができる役です。

また、他の役と組み合わせることもできます。



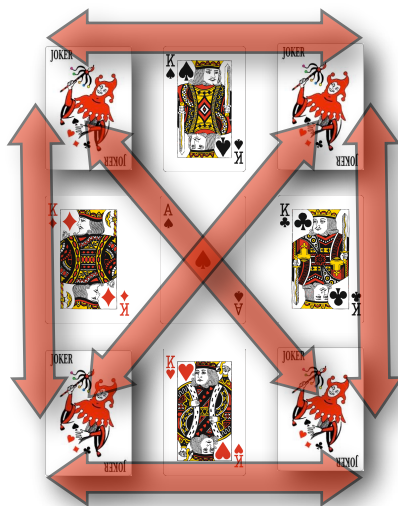
中央の横一列にオリオンが完成した状態。
シークエンス20点×2、ロイヤル・シークエンス40点、オリオン50点で、計130点となります。



左上から右下へ、斜めにオリオンが完成した状態。
同時に8つの役が完成しています。
ロイヤル・シークエンス40点×5、セット30点×2、オリオン50点で、計310点となります。

◆ペガサス (400点)

山札から場に出てきたジョーカーと手札のジョーカー、計4枚のジョーカーを各コーナーに配置することによりできる役です。ペガサス座の大四辺形のイメージから、「ペガサス」と名付けました。



四辺は、通常札1枚とジョーカー2枚の組み合わせになっているため、全てロイヤル・シークエンスが完成しているものと見なします。斜め2列についても同じです。

本来はロイヤル・シークエンス40点×6で240点となるところですが、この「ペガサス」は減多に完成することがない特別な役のため、ボーナスとしてプレイヤーに400点が与えられます。

③ サウザンド・ポイント (複数プレイ)

複数回ゲームを行い、1000点を先取したプレイヤーを勝利とするルール。

④ マッチ・プレイ (複数プレイ)

1人プレイを同時進行で2人以上で行い、点数を競うルール。

■サザンクロスQ&A 「こんな時、どうする？」

Q. 場を作るときに、いきなり役ができた場合はどうなるのですか？

A. 場札の9枚を見て、この時既に縦、横、斜めの列で「シークエンス」「セット」などの役ができていても、その役は取ることができません。山札から場へ補充したカードにより役ができた場合でも同じです。

※サザンクロスの大原則・・・「神が作りし役を、人間が取ることにはできない」

プレイヤーがカードを置く、または取り除くことによって役ができた場合のみ、役として取ることができ、点数が加算されます。

Q. カードを置きたい場所がなければ、パスしてもよいのですか？

A. このゲームにパスはありません。自分の順番では、必ず場のどこかの場所にカードを置いてください。

Q. 役ができて、取りたくない場合は取らなくてもよいのですか？

A. 役ができた場合は、必ず取らなくてはなりません。

Q. 役となったカードを取り除いたことによって、新たな役ができた場合はどうなるのですか？

A. それも役として取り除き、点数を加算してください（「コンボ」と呼びます）。

Q. 場札の下になっているカードを見てもよいのですか？

A. 見ても構いません。ただし、見るのは自分の順番の時だけにしておくのがエチケットです。

■ 「サザンクロス」をさらに楽しむために (1)

「シシクロス (4×4クロス)」

場札を縦4枚×横4枚の計16枚にしてプレイするサザンクロスです。通常の3枚を基本とした役だけでなく、4枚のできる役もあります。1人でも2人以上でもプレイできます。1列に4枚あることから、1列に4個のキューブがある「ルービックキューブ・リベンジ」に因んで「リベンジ・クロス」とも呼びます。

通常のサザンクロスではできないような、高得点役も多く発生します。

ロイヤル・シークエンス (40点)

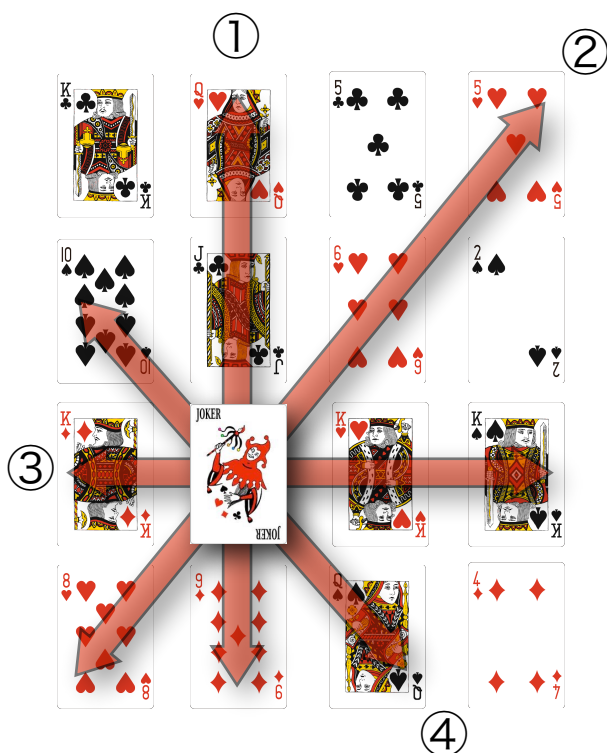
シークエンス (20点)

セット (30点)

フォア・カード (ハイパー・セット) (60点)
※セット (30点) の2倍。
カード4枚で作るセット。

ハイパー・シークエンス (40点)
※シークエンス (20点) の2倍。
カード4枚で作るシークエンス。

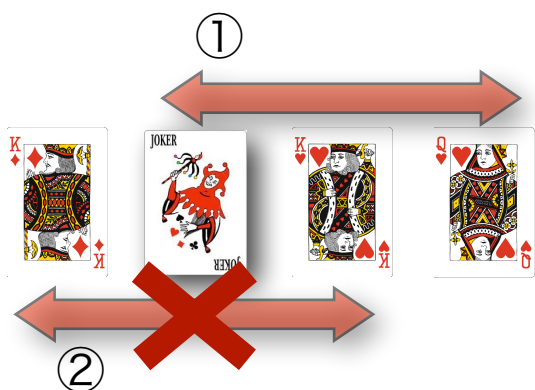
ハイパー・ロイヤル・シークエンス (80点)
※ロイヤル・シークエンス (40点) の2倍。
カード4枚で作るロイヤル・シークエンス。



**ジョーカーを使用した複合役の一例
 (変型サザン・クロス)**

- ①ハイパー・シークエンス (40点)
- ②ハイパー・ロイヤル・シークエンス (80点)
- ③フォア・カード (ハイパー・セット) (60点)
- ④ロイヤル・シークエンス (40点)

合計200点となります。



〈注意〉

場札 (場に既にあった札) を2つ以上の役に同時に絡ませることはできません。

左図のような場合、

- ①ロイヤル・シークエンス (40点)
- ②セット (30点)

のダブル・トリックとはならず、点数の高い役である①しか取れません。

■ 「サザンクロス」をさらに楽しむために (2)

「ゴゴクロス (5×5クロス)」

場札を縦5枚×横5枚の計25枚にしてプレイするサザンクロスです。トランプを2組使用します。通常の3枚を基本とした役だけでなく、4枚または5枚のできる役もあります。1人でも2人以上でもプレイできます。場札をトランプの1人遊び「モンテカルロ」と同じ形に並べることから「モンテカルロ・クロス」とも呼びます。

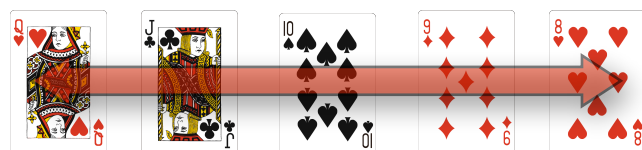
通常のサザンクロスではできないような、高得点役も多く発生します。

■使用するカード トランプ2組 (104枚) + ジョーカー (4枚) 計108枚



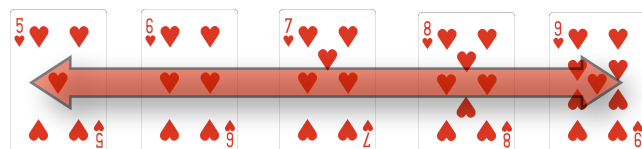
ファイブ・カード (120点)

※セット (30点) の4倍。
カード5枚で作るセット。



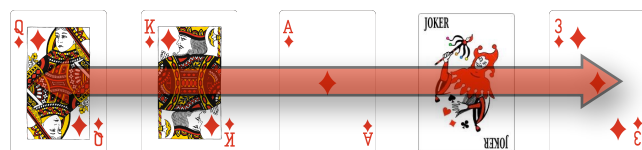
ストレート (80点)

※シークエンス (20点) の4倍。
カード5枚で作るシークエンス。



ストレート・フラッシュ (160点)

※ロイヤル・シークエンス (40点) の4倍。
カード5枚で作るロイヤル・シークエンス。



ロイヤル・ストレート・フラッシュ (200点)

※ロイヤル・シークエンス (40点) の5倍。
10・J・Q・K・Aで作るストレート・フラッシュ。



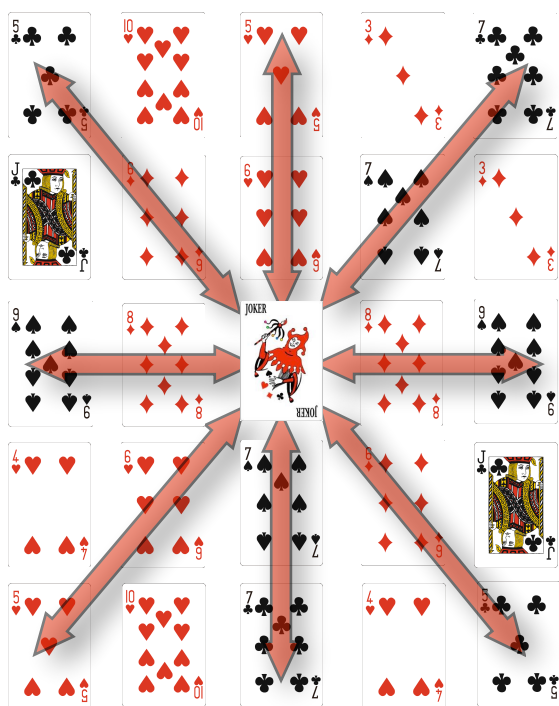
◆クアドラブル・トリック ～ オクタブル・トリック

ゴゴクロスでは、ジョーカー、あるいはジョーカー以外の手札を置くことによって、3枚役や4枚役が同時に5つ以上完成する場合があります。

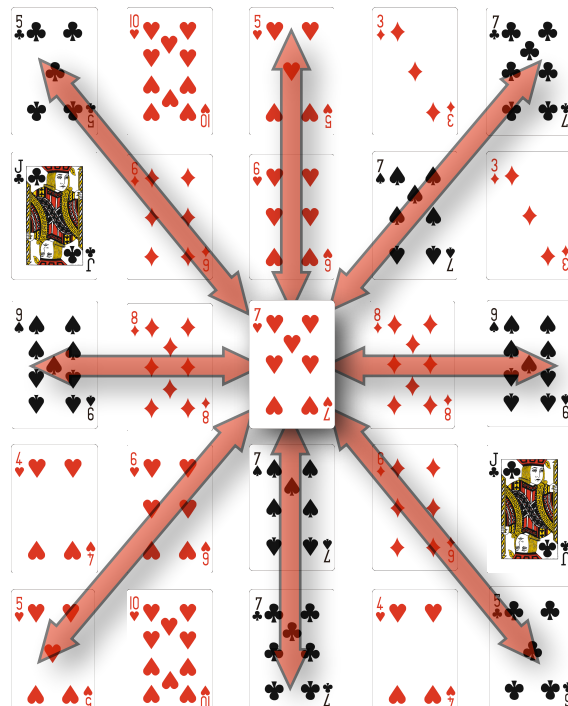
ジョーカーを使って、同時に4つの役ができた場合、サザンクロス、シシクロスでは「サザン・クロス」ですが、ゴゴクロスの場合は「クアドラブル・トリック」と呼びます。同時に5つの役ができた場合は「クインティプル・トリック」、6つなら「セクスタプル・トリック」、7つなら「セプタプル・トリック」、8つなら「オクタブル・トリック」となります。点数はそれぞれの役の合計点数です。

◆エキストラ・クアドラブル・トリック ～ エキストラ・オクタブル・トリック

ジョーカーを使わずに同時に4つの役ができた場合、サザンクロス、シシクロスでは「グランド・クロス」ですが、ゴゴクロスの場合は「エキストラ・クアドラブル・トリック」と呼びます。5つの役ができれば「エキストラ・クインティプル・トリック」、6つ以上の場合も同様です。それぞれの役の合計点数に、役の数を乗じた数が点数となります。



オクタブル・トリックの一例。
 ロイヤル・シークエンス×2 (40点×2)、セット×2 (30点×2)、シークエンス×4 (20点×4) で計220点となります。

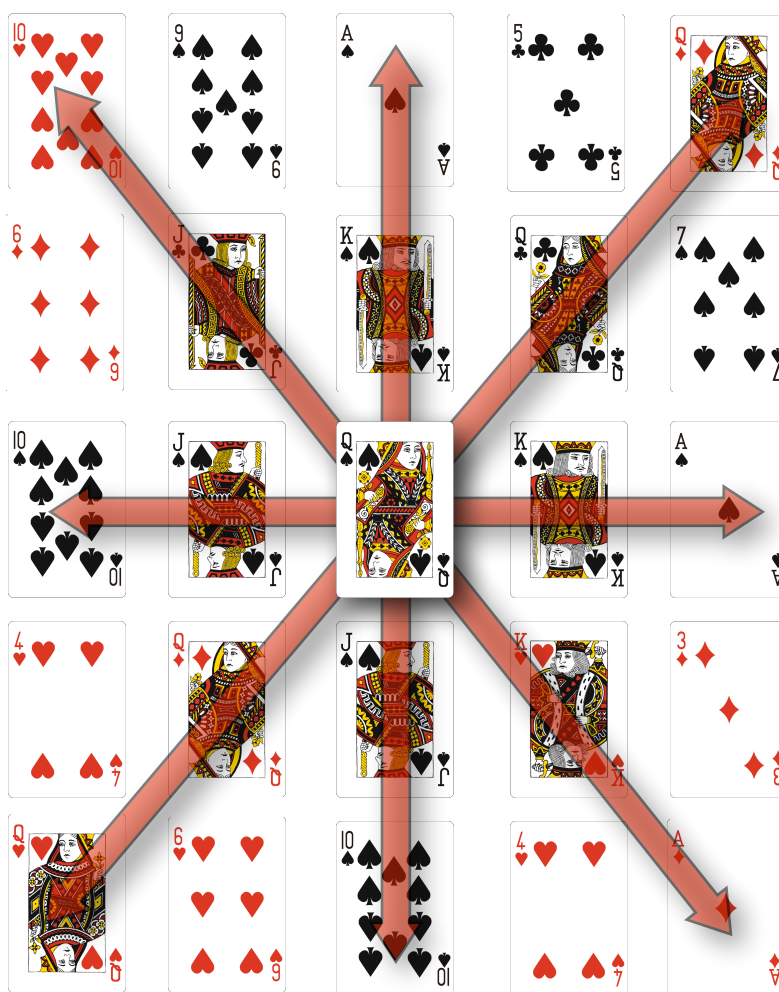


エキストラ・オクタブル・トリックの一例。
 ロイヤル・シークエンス×2 (40点×2)、セット×2 (30点×2)、シークエンス×4 (20点×4) の8倍で1760点となります。

◆ニルヴァーナ（点数はそれぞれの役の合計点数の25倍。8000点～15000点）

ジョーカーを使わず、手札を場札の中央に置き、同時に4つの5枚役が完成した場合。点数はそれぞれの役の合計点数の25倍。ニルヴァーナ（涅槃）は仏教で「悟りの境地」を意味します。

下図のように、中央にQを置き、ロイヤル・ストレート・フラッシュ×2、ファイブ・カード、ストレートが同時に完成した場合は、「クイーン・オブ・エンパイア（帝国の女王）」という、ゴゴクロスにおける最高点数（15000点）の役となります。



クイーン・オブ・エンパイア（帝国の女王）

ゴゴクロスにおける最高点数である15000点がプレイヤーに与えられる。

ロイヤル・ストレート・フラッシュ×2（200点×2）、ファイブ・カード（120点）、ストレート（80点）の25倍で、

$$(200 \times 2 + 120 + 80) \times 25 = 15000 \text{ 点 となります。}$$

■ 「サザンクロス」をさらに楽しむために (3)

「フリークロス (のびクロス)」

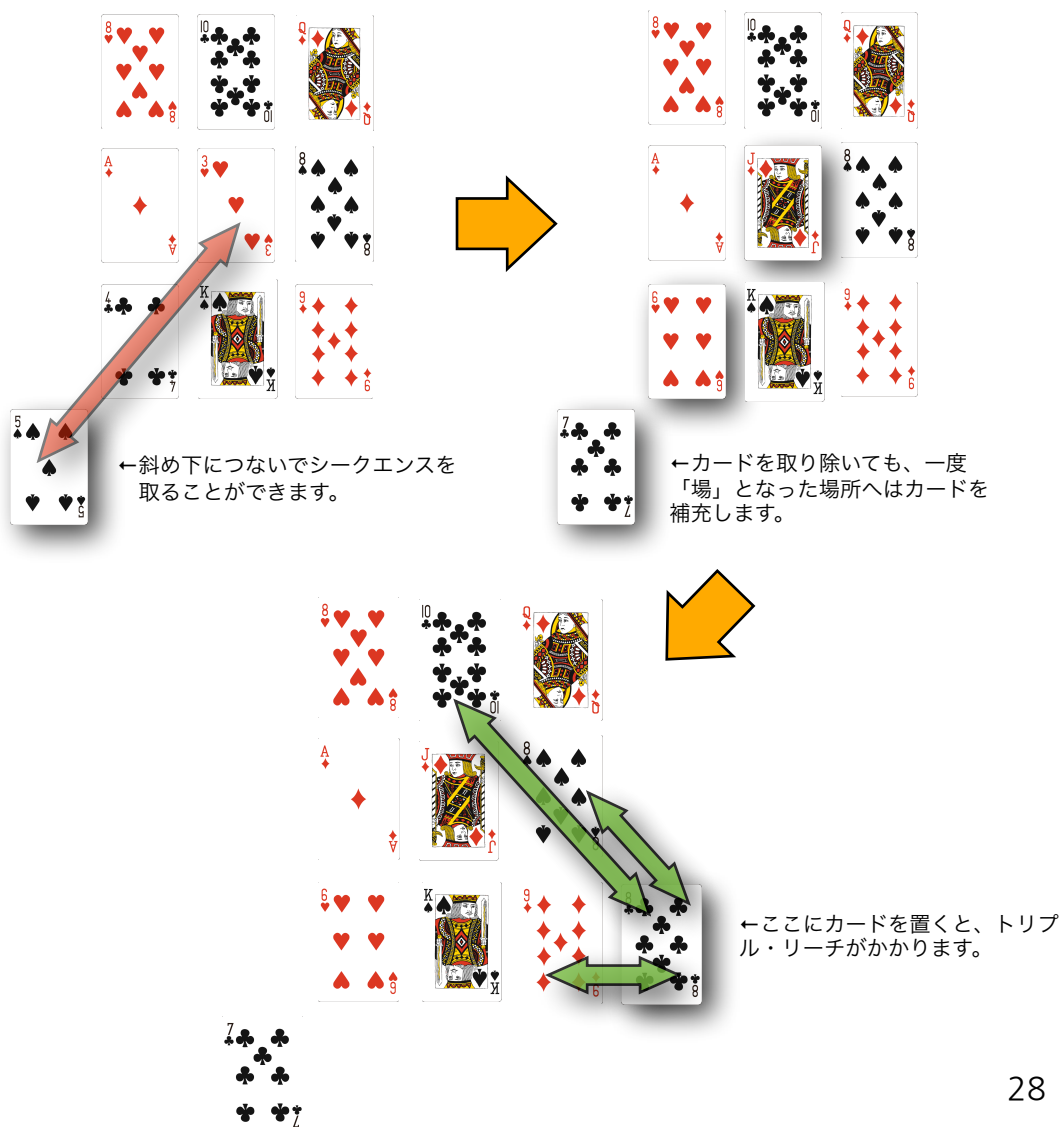
場を3×3などに制約されることなく、プレイヤーの任意により、場をどんどん広げていく、伸ばしていくサザンクロスです。通常の3枚を基本とした役だけでなく、4枚または5枚のできる役もあります。1人でも2人以上でもプレイできます。

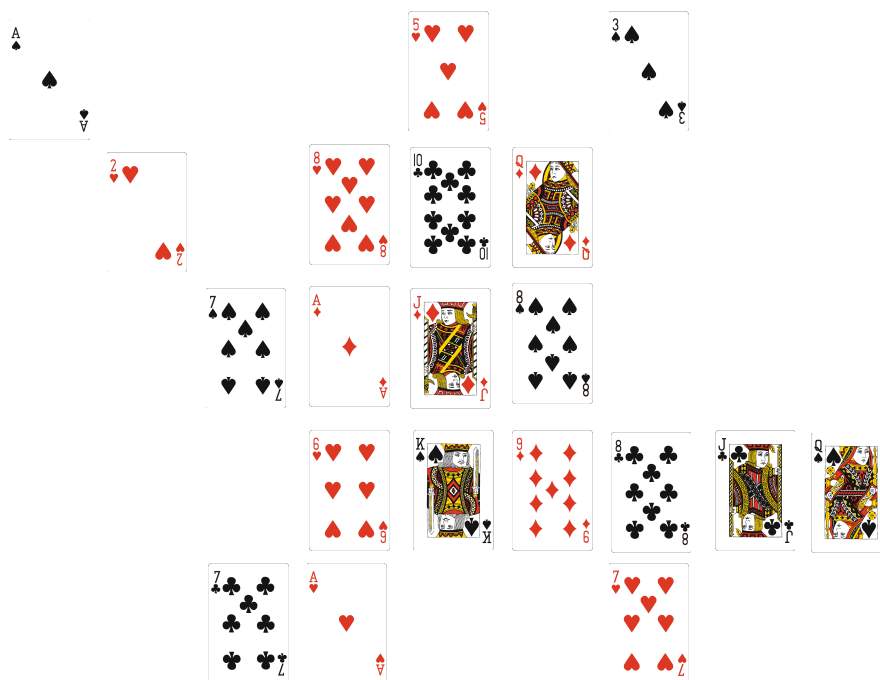
このルールは、Ta Yohey 氏が考案しました。

◆スタンダード・フリークロス

通常のサザンクロスと同様、縦3枚×横3枚の9枚の場札から始めます。

プレイヤーは、カードを場に置いていく時に、この3×3の場だけでなく、縦・横・斜めに繋がる場所にも置くことができます。一度カードが置かれた場所は新たな「場」の一部となり、そのカードが取り除かれても、場の一部としてカードを補充していきます。補充する際には、元の場札の箇所 (3×3) から先に補充するようにしてください。





このように、どこまでも場が広がっていきます。

◆ウルトラ・フリークロス

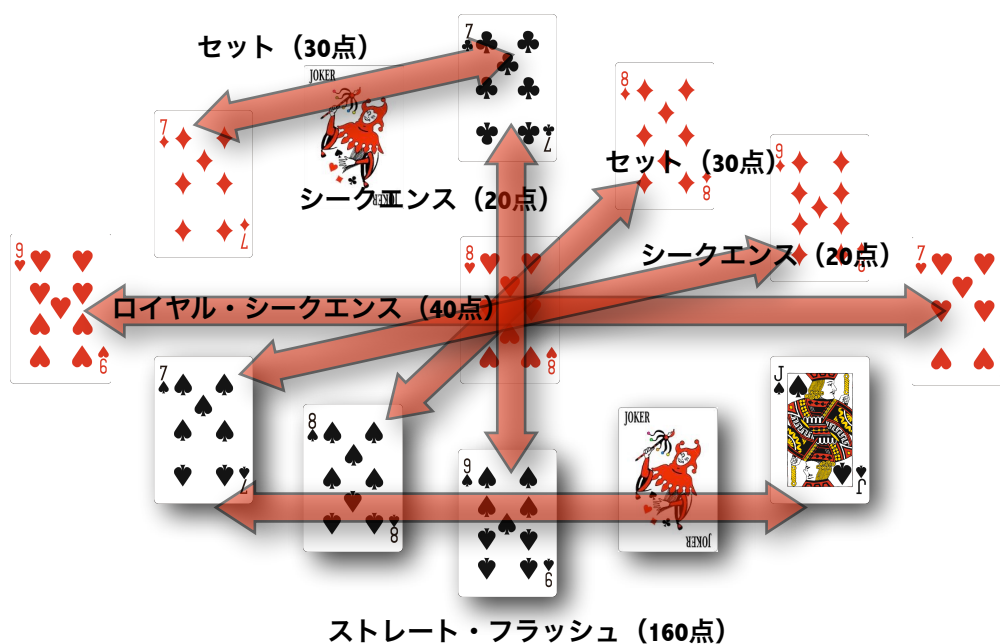
場に何もカードが無い状態から始めます。何も無い所に宇宙が生まれるイメージから「ビッグバン・クロス」とも呼びます。プレイヤーは、自由に場を作っていくこととなります。このルールでプレイする場合、全ての場札を消すことにより50点が得られる「トータル・エクリプス（皆既日蝕）」は禁じ手となります。

■ 「サザンクロス」をさらに楽しむために（４）

「ゾディアクロス」

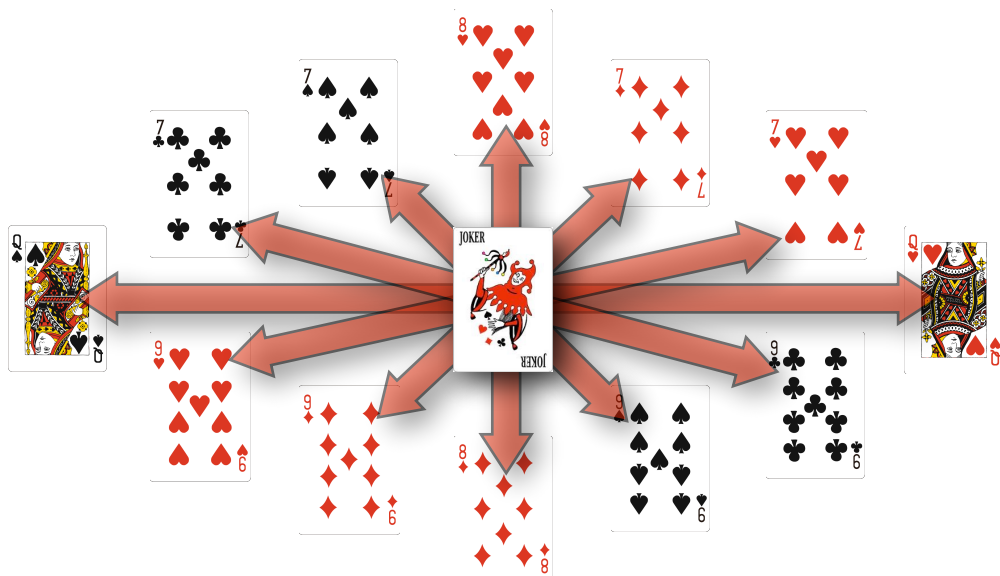
場札13枚を下図のように、ちょうど地球を黄道十二星座が囲んでいる形に並べてプレイするサザンクロスです。通常の3枚を基本とした役だけでなく、4枚または5枚でできる役もあります。1人でも2人以上でもプレイできます。他のルールのように場にコーナー（角）の概念がなく、楕円形になっており、どこにでも自由に役を作ることができるのが特徴です。

場札をトランプの1人遊び「時計（クロック）」と同じ形に並べることから「クロックワーク・サザンクロス」、または、場札の形が奈良県にある新薬師寺に祀られている十二神将の並びに似ていることから「十二神将クロス」とも呼びます。



◆ゾディア・クロス (120~240点)

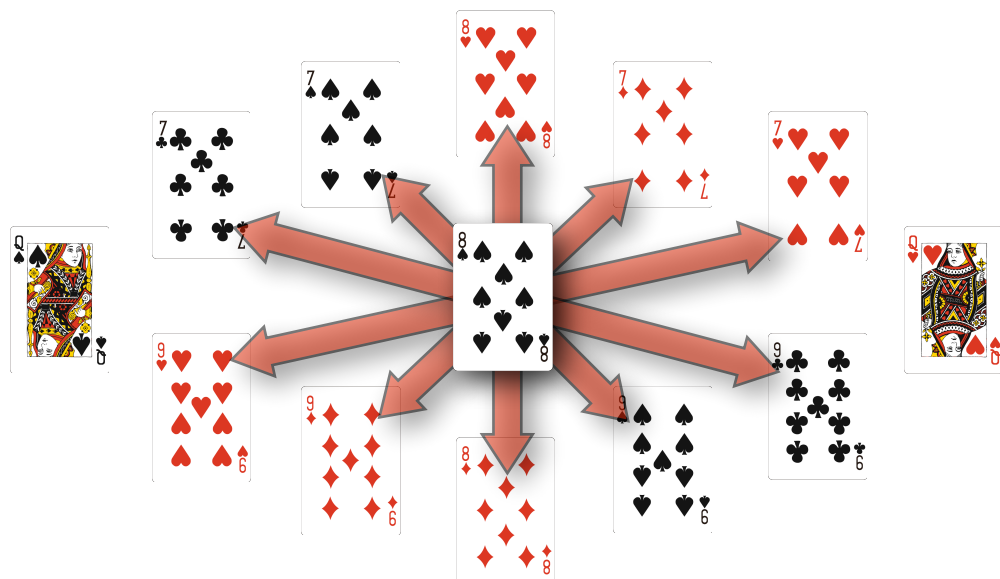
ジョーカーを場の中央に置き、同時に6つの役が完成した場合。点数はそれぞれの役の合計。



ロイヤル・シークエンス×4 (40点×4)、セット×2 (30点×2) で計220点となります。

◆スーパーノヴァ (1000~1300点)

ジョーカー以外のカードを場の中央に置き、同時に5つの役が完成した場合。点数はそれぞれの役の合計の10倍。



ロイヤル・シークエンス (40点)、セット (30点) とシークエンス (20点×3) の計130点の10倍で1300点となります。

おわりに

この公式ルールは、最終形とは考えていません。改善点や、遊び方の新たなバリエーションなどのご提案がありましたら、日本サザンクロス協会事務局までご連絡ください。また、ご不明な点についても、いつでもお問い合わせください。会員も随時募集中です！

日本サザンクロス協会
代表 北畑 雄一郎

トランプゲーム「サザンクロス」公式ルール

http://www7b.biglobe.ne.jp/~bignose_bozu/southernX_rule.pdf

日本サザンクロス協会 Facebookページ

<http://www.facebook.com/JSAsoutherncross>